

香川県内の「交通事故ゼロ」を目指して！

～第14回「香川県交通事故対策会議」を開催します。～

○国土交通省四国地方整備局、香川県警察本部、香川県、高松市は、香川県内の交通事故の削減に向けて、「第14回香川県交通事故対策会議」を下記のとおり開催します。

1) 日時：平成28年5月24日(火) 10:00～12:00

2) 場所：国土交通省香川河川国道事務所 2階 第1・2会議室
高松市福岡町4-26-32

3) 対策会議メンバー(別紙-1参照)

4) 会議内容(別紙-2参照)

- ・事故危険箇所の選定
- ・生活道路の対策検討
- ・幹線道路の事故対策検討
- ・対策効果検証

報道関係者の皆様へ

- ・ご質問等については、会議終了後に対応させていただきます。
- ・本会議の撮影は、会議の冒頭まで(頭取り)とさせていただきます。
- ・審議内容についての事前の報道は、差し控えるようにお願いします。

※本施策は、四国圏広域地方計画「No.4全国に先駆けて進行する人口減少への「子国」支援対策プロジェクト」の取り組みに該当します。

平成28年5月20日

国土交通省 四国地方整備局 香川河川国道事務所

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 四国地方整備局 香川河川国道事務所
TEL (087) 821-1561

事業対策官

かなたき かずひこ
金 滝 和彦 (内線208)

◎ 交通対策課長

うがわ よしのぶ
宇川 義信 (内線471)

※◎：主たる問い合わせ先

H28.4現在

委員	所属	役職	備考
会議・議長	四国地方整備局	道路部 道路情報管理官	
委員	大阪大学大学院	工学研究科地球総合工学専攻 教授	
委員	四国地方整備局	道路部 道路管理課長	
委員	四国地方整備局	香川河川国道事務所長	
委員	香川県警察本部	交通部 交通企画課長	
委員	香川県警察本部	交通部 交通規制課長	
委員	香川県	危機管理総局 暮らし安全安心課長	
委員	香川県	土木部 道路課長	
委員	高松市	都市整備局長	
オブザーバー	香川県交通安全母の会連合会	会長	
オブザーバー	香川県老人クラブ連合会	常務理事事務局長	

○事故危険箇所の選定

○幹線道路において事故の危険性が高く、道路整備や交通安全施設設備により対策効果が見込まれ、第4次社会資本整備重点計画期間中に重点的に交通事故対策を実施すべき箇所を「事故危険箇所」として選定する。

＜新たな選定候補箇所＞ 直轄国道:40箇所 県道:95箇所

【事故危険箇所選定の基準(案)】

抽出基準	指標の内容	直轄国道	県道
抽出基準A	事故率が一定の基準を満たす箇所	17箇所	36箇所
抽出基準B (顕在的)	抽出基準Aに該当しない箇所のうち、地域の課題や特徴を踏まえ、特に緊急的、集中的な対策が必要な箇所等	18箇所	55箇所
抽出基準B (潜在的)	ETC2.0のビッグデータを活用して判明した潜在的な危険箇所等	5箇所	4箇所

【位置図】



○生活道路の対策検討

【検討内容】

「市町村道の交通事故メッシュデータベース(H26)」において死傷事故件数が多いメッシュ(500m×500m)を基本とした上で、生活道路対策の観点から、総合的に判断し緊急性の高いエリアを選定する。(候補エリア6メッシュ)

○幹線道路の事故対策検討

○事故危険箇所を中心に事故要因分析・対策検討を行う。

【対策検討箇所】

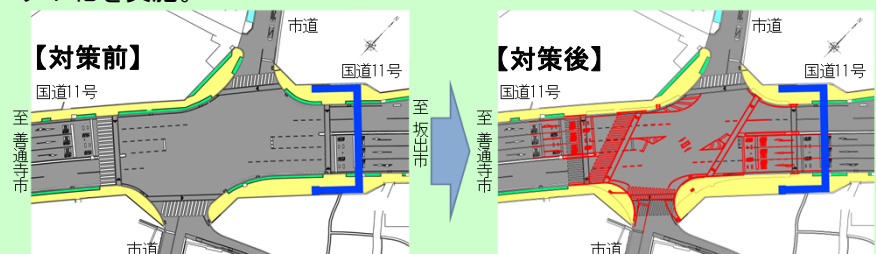
- ・国道11号 伏石町交差点
- ・国道11号 中央公園南交差点
- ・その他 幹線道路で発生する重大事故に着目した対策検討 等

○対策効果検証

○国道11号川古交差点において事故対策を実施し、対策の効果検証を行う。

【対策内容】

自転車の乱横断による事故等の対策として、平成27年2月に交差点のコンパクト化を実施。



【効果検証】

期待される効果	交通挙動調査	住民意識調査	
		対策による変化	整備後も危険を感じる状況
自転車の乱横断の抑制	乱横断件数 4件→3件	対策前より安全になったとの回答約6~7割	自転車のショートカット 52.6%
交錯機会の減少	ヒヤリハット事象の件数 4件→3件		—
右左折車両の速度低下	右折車 32.2→24.7km/h 左折車 19.8→15.4km/h		車の速度が速い 52.5%
黄色・赤色時の交差点進入の抑制	黄色・赤色時の交差点進入率5.3%→3.7%		横断している途中で信号が変わり自動車が進入してくる 52.5%

事故対策会議は、香川県における交通事故抑止対策をより効果的・効率的に実施するため、主として直轄国道を対象とする対策箇所について選択と集中の観点で厳格に選定し、その選定箇所の事故発生要因を調査・分析、対策の立案・実施および対策の検証・評価等を行うとともに、必要に応じ他の道路へ拡大することを目的として設置しております。